

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research
Institute

サルコペニア・フレイルの 病態生理に関する研究

運動器疾患研究部

細山 徹 副部長

2025年5月15日（木）16時30分～
第1研究棟2階大会議室

サルコペニア・フレイルは加齢性疾患の代表格の一つであるが、その発症や増悪化の機序は明らかになっていない。我々は、培養細胞やマウスモデル、ヒト検体などを用いた多角的アプローチにより、これらの疾患の病態生理機構の解明を目指した研究を進めている。本セミナーでは、我々がこれまでに明らかにしてきた、「ビタミンDとサルコペニアとの関連性に関する知見」と「サルコペニア・フレイルのバイオマーカー探索で得られた知見」などについて概説するとともに、現在進めているプロジェクトの一部についても紹介したい。